

令和7年度（2025年度）北海道立教育研究所研修講座概要

(令和7年4月1日現在)

講座番号	1	講座名	学校管理職研修 1 ～学校経営におけるアセスメントとファシリテーション～		
区分	管理職				
研修のねらい	集合型研修及び遠隔型研修における講義、協議、演習と職場実践を通して省察を重ね、学校が置かれた内外環境に関する情報のアセスメント及び、学校内外の関係者の相互作用により学校の教育力を最大化するファシリテーションについて理解を深め、学校経営の在り方について探究する。		受講対象 定員	全ての校種の校長 32名	
日程	実施形態	概要			
①6月25日(水)	遠隔	【講義・協議】（1.5h） ○学校経営におけるアセスメントとファシリテーション ○事例分析 ○事前課題Ⅰに向けて			
【事前課題Ⅰ】 ○学校経営の省察 ○事例の検討					
②9月22日(月)	集合	【協議・演習】（6.5h） ○事前課題に基づく事例分析 ○事前課題Ⅰの振り返り ○事前課題Ⅱに向けて			
【事前課題Ⅱ】 集合型研修を踏まえた学校経営の省察					
③12月3日(水)	遠隔	【交流・協議】（2.5h） ○研修転移の確認と今後の行動目標の設定 ○まとめ、振り返り			
講師	①②③札幌新陽高等学校長 北村 善春 氏 (平成30年 北海道立教育研究所長 令和 2年 北海道教育大学教職大学院旭川校特任教授 令和 7年～現職 「教員・管理職研修アップデート講座」（学事出版 2024）)		研修コード	2025教研01	
			実施 要項		

※全3回

講座番号	2	講座名	学校管理職研修2 ～これからの時代に求められる管理職の資質能力～	
区分	管理職			
研修のねらい	集合型研修での学校経営に係る協議や職場実践を踏まえた遠隔型研修での交流・協議を通して、自分自身の考え方や在り方を自覚するとともに、これからの時代に求められる管理職の資質能力について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の校長 32名
日程	実施形態	概要		
①7月上旬	遠隔	【講義・協議】（2.5h） ○これからの時代に求められる管理職の資質能力や学校組織マネジメントに係る講義 ○これからの時代に必要な管理職の資質能力についてグループで交流・協議		
【事前課題Ⅰ】遠隔型研修Ⅰを踏まえた取組				
②9月上旬 （2日間）	集合	【演習・協議・講義】（6.5h×2日） ○学校経営に係る協議を通して、自身の学校経営等に係る考え方を省察 ○演習・協議等で得た気づきを基に職場実践の取組を構想		
【事前課題Ⅱ】集合型研修を踏まえた職場実践の取組				
③12月上旬	遠隔	【交流・協議】（2.5h） ○職場実践の交流 ○まとめ、振り返り		
講師	①②③未定	研修コード	2025教研02	
		実施要項		

※全3回

講座番号	3	講座名	学校管理職研修3 ～校務DXの推進による学校における働き方改革の実現～	
区分	管理職			
研修のねらい	講義や受講者同士の協議等を通して、全ての子どもたちへのよりよい教育を目指し、学校における働き方改革の実現に向けた校務DXの推進に係る校長のマネジメントについて理解を深め、自校における見通しをもつ。		受講対象 定員	全ての校種の校長 84名
日程	実施形態	概要		
①7月25日(金) ～8月25日(月)	オンデマンド	【講義】（1h） ○学校における働き方改革「先生が忙しすぎる」をあきらめない（NITS校内研修シリーズ No.50） ○北海道アクションプラン第3期 ○本道の現状と課題 ○事前課題について		
【事前課題】 ○チェックリストによる自校の現状及び課題の明確化 ○自校における校務DXの推進による働き方改革の実現に向けた方策				
②9月9日(火)	遠隔	【実践発表・講義・協議】（5h） ○管理職としての資質能力 ○自校における現状及び課題の明確化 ○学校における校務DXを推進した働き方改革事例の実践発表 ○学校における働き方改革の実現 ○校務DXの推進による自校における働き方改革の実現に向けた見通し		
【職場実践・振り返り】 ○校務DXの推進による自校における働き方改革に向けた取組 ○取組の成果や課題の把握 ○振り返り				
講師	②一般社団法人ライフ＆ワーク代表理事 妹尾 昌俊 氏 （R6道研研修講座講師。 中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員）		研修コード	2025教研03
			実施 要項	

講座番号	4	講座名	学校管理職研修4 ～子どもの学びや教職員を支える学校DXの推進～	
区分	管理職			
研修のねらい	講義や受講者同士の協議を通して、ICTの効果的な活用による学校教育の情報化を推進する方策について理解を深め、自校における推進の見通しをもつ。		受講対象 定員	全ての校種の教頭・主幹 教諭 84名
日程	実施形態	概要		
①7月23日(水) ～8月26日(火)	オンデマンド	【講義】（1.5h） ○学校教育の情報化を推進する効果的な方策 ・推進体制の整備 ・校務DX ・情報化による授業改善 ・ICT環境の整備 等 ○本道の現状と課題		
【事前課題】学校教育の情報化に係る自校の現状と課題の把握				
②9月10日(水)	遠隔	【講義・協議】（4h） ○管理職としての資質能力 ○学校教育の情報化に係る自校の強みと課題 ○学校教育の情報化の推進に向けて ○自校における学校教育の情報化の方向性		
【職場実践・振り返り】 ○自校における情報化の推進に向けた取組 ○振り返り				
講師	①②合同会社LTS代表社員 菅野 光明 氏 （文部科学省学校DX戦略アドバイザー。元札幌市立稲穂小学校長）		研修コード	2025教研04
			実施要項	

※全2回

講座番号	5	講座名	学校管理職研修5 ～安全な学校づくりのための危機管理体制の在り方～	
区分	管理職			
研修のねらい	オンデマンド型研修及び講義・協議を通して自校における危機管理の在り方を検証し、学校経営上の日常的な危機管理に関する方策を得る。		受講対象 定員	全ての校種の校長 64名
日程	実施形態	概要		
①6月4日(水) ～7月1日(火)	オンデマンド	【講義】（1h） ○事件・事故発生時の学校対応～学校事故対応に関する指針をもとに～ （NITS校内研修シリーNo.166） ○事前課題について		
【事前課題】 ○チェックリストによる危機管理体制に係る自校の課題の明確化 ○組織的に取り組む危機管理体制の整理				
②7月15日(火)	遠隔	【講義・協議】（4h） ○管理職としての資質能力 ○自校における危機管理の在り方 ○自校の課題解決に向けた方策		
【職場実践・振り返り】 ○遠隔型研修を踏まえた取組 ○振り返り				
講師	②北海道教育庁空知教育局 義務教育指導監 眞田 眞 氏		研修コード	2025教研05
			実施要項	

※全2回

講座番号	6	講座名	学校管理職研修6 ～学校危機における管理職のマネジメント～	
区分	管理職			
研修のねらい	オンデマンド型研修及びスクールロイヤーによる講義等を通して、いじめの問題に係る学校危機の早期解決、早期収束を図る管理職の対応の在り方について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の教頭・主幹 教諭 64名
日程	実施形態	概要		
①6月中旬以降	オンデマンド	【講義】（1h） ○学校におけるいじめ問題への対応のポイント （NITS校内研修シリーズNo.90） ○事前課題について		
【事前課題】学校危機に係る事例の検討（いじめ対応について）				
②7月下旬以降	遠隔	【講義・協議】（4h） ○管理職としての資質能力 ○道内における相談事例からみた危機管理の在り方 ○学校危機におけるマネジメントの改善・充実		
【職場実践・振り返り】 ○遠隔型研修を踏まえた職場実践の取組 ○振り返り				
講師	②北海道教育委員会が委嘱するスクールロイヤー、 北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課		研修コード	2025教研06
			実施 要項	

※全2回

講座番号	7	講座名	学校管理職研修7 ～質の高い教職員集団の形成に向けて～	
区分	管理職			
研修のねらい	講義や受講者同士の協議を通して、多様な専門性を有する教職員集団における自主性・向上性と同僚性・協働性を高める組織づくりの具体策等について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の校長 84名
日程	実施形態	概要		
①9月9日(火) ～10月9日(木)	オンデマンド	【講義】（1h） ○一人一人の多様な専門性を生かした教員組織づくり		
【事前課題】 自校の教員組織タイプ及び強みと弱みの分析				
②10月22日(水)	遠 隔	【講義・協議】（4h） ○管理職としての資質能力 ○自校の教員組織の現状と課題 ○学校組織のマネジメント ○自主性・向上性と同僚性・協働性を高める教員組織づくりの具体 ○自校の教員組織の改善に向けた今後の取組に向けて		
【職場実践・振り返り】 ○自校における教職員組織の改善に向けた取組 ○振り返り				
講師	①②早稲田大学教育・総合科学学術院教授 河村 茂雄 氏 （「Q-U『楽しい学校生活を送るためのアンケート』」開発者。 NITS 令和6年度学校組織マネジメント研修講師。 「学校管理職が進める教員組織づくり」（図書文化、2017））		研修コード	2025教研07
			実施 要項	

※全2回

講座番号	8	講座名	学校管理職研修8 ～学校全体の教育力の向上につなげる人材育成の在り方～	
区分	管理職			
研修のねらい	講義や受講者同士の協議を通して、教職員の資質能力の向上を学校全体の教育力の向上につなげる、個々のキャリアステージに応じた人材育成の在り方について理解を深め、自校における今後の充実・改善の見通しをもつ。		受講対象 定員	全ての校種の校長 84名
日程	実施形態	概要		
①8月7日(木) ～9月18日(木)	オンデマンド	【講義】（1.5h） ○学校運営への参画を通じた教師の持続的な成長 ○個々のキャリアステージに応じた人材育成 ○「新たな教師の学びの姿」 ・学びに打ち込める環境の構築 ・現場の経験を重視した学び		
【事前課題】 自校における人材育成の現状と課題の明確化				
②10月3日(金)	遠隔	【講義・協議】（4h） ○管理職としての資質能力 ○自校の現状と課題の明確化 ○学校全体の教育力の向上を目指す人材育成の在り方 ・管理職に求められるリーダーシップとマネジメント ○自校における人材育成の取組の充実・改善の方策		
【職場実践・振り返り】 ○自校における人材育成の取組の充実・改善 ○振り返り				
講師	①②環太平洋大学次世代教育学部教授 浅野 良一 氏 (NITS 令和6年度学校組織マネジメント研修講師。 『学校の組織マネジメント能力向上』（共著） (教育開発研究所)。 『ステップアップ：学校組織マネジメント』（共著） (第一法規))		研修コード	2025教研08
			実施 要項	

※全2回

講座番号	9	講座名	学校管理職研修9 ～研修観の転換によるこれからの校内研修～	
区分	管理職			
研修のねらい	講義や受講者同士の協議を通して、教師自身の研修観を転換するこれからの校内研修の在り方について理解を深め、自校における校内研修の改善の見通しをもつ。		受講対象 定員	全ての校種の教頭・主幹 教諭及び校内研修を担当 する教諭 84名
日程	実施形態	概要		
①8月26日(火) ～9月25日(木)	オンデマンド	【講義】（1.5h） ○新たな教師の学びについて （シリーズ「これまでの研修、これからの研修」 No.1） ○これまでの研修・これからの研修 （シリーズ「これまでの研修、これからの研修」 No.3） ○本道における現状と改善の方向性		
【事前課題】 校内研修に係る自校の現状と課題の把握				
②10月9日(木)	遠 隔	【講義・協議】（4h） ○管理職としての資質能力（新任管理職研修対象者及び管理職が受講） ○自校の現状と課題について ○研修観の転換に基づく 校内研修の在り方 ○自校の校内研修に係る改善の見通し		
【職場実践・振り返り】 ○自校における校内研修の改善に向けた取組 ○振り返り				
講師	①②N I T S職員	研修コード	2025教研09	
		実施 要項		

※全2回

講座番号	10	講座名	学校管理職研修10 ～プロアクティブな生徒指導の創意工夫に向けて～	
区分	管理職			
研修のねらい	講義や受講者同士の協議・演習を通して、校長のリーダーシップの下、生徒指導上の諸課題の未然防止や再発防止に向けたプロアクティブな生徒指導の創意工夫の在り方について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種の校長 42名 程度（各管内3名ずつ）
日程	実施形態	概要		
①9月30日(火) ～11月7日(金)	オンデマンド	【講義】（1h） ○学校のビジョンと戦略 ○いじめのとらえ方と予防 ○いじめのとらえ方と予防Ⅱ （NITS校内研修シリーズ No.97、56、169）		
【事前課題】 オンデマンド型研修を踏まえた、自校の現状分析、聞き取り調査				
②11月21日(金)	遠 隔	【講義・演習・協議】（4h） ○管理職としての資質能力 ○学校の教育目標の実現に向けた発達支持的生徒指導 ○未然防止をねらいとした、意図的・組織的・系統的な教育課程 ○生徒指導マネジメントサイクルの確立（PDCA サイクル）		
【職場実践・振り返り】 ○遠隔型研修を踏まえた職場実践の取組 ○振り返り				
講師	②日本大学文理学部教授 藤平 敦 氏 （元国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター総括研究官）	研修コード	2025教研10	
		実施 要項		

※全2回

講座番号	11-1	講座名	教科研修（高校 国語） ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～	
区分	教科指導			
研修のねらい	国語科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に関する講義・演習等を通して、自己の課題を明確化し、その改善に取り組むことで実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	教科等指導において中核的な役割が期待される高等学校等国語科担当教諭（主幹教諭含む） 10名
日程	実施形態	概要		
①7月11日(金)	遠 隔	【講義・演習】（4h） ○講義：個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ○演習：自己課題の明確化と目標の設定		
【職場実践】 ○課題解決に向けた取組 ○オンデマンド動画の視聴 ○実践の記録の作成 ※所員によるフォローアップ				
②11月14日(金)	遠 隔	【実践交流】（3h） ○実践成果の発表及び交流 ○研修のまとめ		
講師	①安田女子大学教授 大滝 一登 氏 （H26～R5国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官。H27～R5文部科学省教科視学官。R6より現職。近著『高校国語 生徒主体の授業のつくり方』）		研修コード	2025教研11-1
			実施要項	

※全2回

講座番号	11-2	講座名	教科研修（高校 地理歴史・公民） ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～	
区分	教科指導			
研修のねらい	地理歴史科・公民科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に関する講義・演習等を通して、自己の課題を明確化し、その改善に取り組むことで実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	教科等指導において中核的な役割が期待される高等学校等地理歴史科、公民科担当教諭（主幹教諭含む） 10名
日程	実施形態	概要		
①7月10日(木)	遠 隔	【講義・演習】（4h） ○講義：個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ○演習：自己課題の明確化と目標の設定		
【職場実践】 ○課題解決に向けた取組 ○オンデマンド動画の視聴 ○実践の記録の作成 ※所員によるフォローアップ				
②11月13日(木)	遠 隔	【実践交流】（3h） ○実践成果の発表及び交流 ○研修のまとめ		
講師	①国立教育政策研究所教育課程調査官 空 健太 氏 （ボストン大学教育学部客員研究員、岐阜工業高等専門学校准教授を経てR6より現職）		研修コード	2025教研11-2
			実施 要項	

※全2回

講座番号	11-3	講座名	教科研修（高校 数学） ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～	
区分	教科指導			
研修のねらい	数学科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に関する講義・演習等を通して、自己の課題を明確化し、その改善に取り組むことで実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	教科等指導において中核的な役割が期待される高等学校等数学科担当教諭（主幹教諭含む） 10名
日程	実施形態	概要		
① 7月9日(水)	遠 隔	【講義・演習】（4h） ○講義：個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ○演習：自己課題の明確化と目標の設定		
【職場実践】 ○課題解決に向けた取組 ○オンデマンド動画の視聴 ○実践の記録の作成 ※所員によるフォローアップ				
② 11月12日(水)	遠 隔	【実践交流】（3h） ○実践成果の発表及び交流 ○研修のまとめ		
講師	①国立教育政策研究所教育課程調査官 小林 廉 氏 （H20より東京学芸大学附属国際中等教育学校教諭、R3第70回読売教育賞算数・数学教育部門最優秀賞。R4より現職）		研修コード	2025教研11-3
			実施要項	

※全2回

講座番号	11-4	講座名	教科研修（高校 理科） ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～	
区分	教科指導			
研修のねらい	観察、実験を伴う実習による実体験や実社会での問題発見・解決につながる教科等横断的な学びを意識した講座・演習等を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方や評価について理解を深め、実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	高等学校等理科担当教諭 （初任から5年以内） 24名
日程	実施形態	概要		
①9月4日(木) ～9月5日(金)	集 合	【観察、実験等を行う実習】（6.5h×1日、6h×1日） ○「物理」「化学」「生物」「地学」の観察、実験 ※4つの領域の中から1つの領域を選択 ○実社会での問題発見・解決		
【職場実践】研修の成果を基に自校で行う授業実践				
②1月26日(月)	遠 隔	【実践交流】（2.75h） ○実践成果発表及び交流		
講師	①②北海道立教育研究所職員 ①酪農学園大学教授 金本 吉泰 氏 （元理科教育センター職員。理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究）		研修コード	2025教研11-4
			実施 要項	

※全2回 ※①の集合型研修は酪農学園大学（江別市文京台緑町582番地）が会場となります。

講座番号	11-5	講座名	教科研修（高校 英語） ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～	
区分	教科指導			
研修のねらい	外国語科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に関する講義・演習等を通して、自己の課題を明確化し、その改善に取り組むことで実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	教科等指導において中核的な役割が期待される高等学校等外国語科担当教諭（主幹教諭含む） 10名
日程	実施形態	概要		
①7月8日(火)	遠隔	【講義・演習】（4h） ○講義：個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 ○演習：自己課題の明確化と目標の設定		
【職場実践】 ○課題解決に向けた取組 ○オンデマンド動画の視聴 ○実践の記録の作成 ※所員によるフォローアップ				
②11月11日(火)	遠隔	【実践交流】（3h） ○実践成果の発表及び交流 ○研修のまとめ		
講師	①国立教育政策研究所教育課程調査官 富永 幸 氏 （R6より現職。「高等学校学習指導要領解説（外国語編・英語編）」作業協力者、「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料【高等学校外国語】」調査研究協力者）		研修コード	2025教研11-5
			実施要項	

※全2回

講座番号	12-1	講座名	教科指導力向上研修（中学校 国語） ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	
区分	教科指導			
研修のねらい	公立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から本道の子どもたちの課題を見だし、課題の解決に向け創意工夫した授業を構築できる実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	中学校等国語科担当教諭 （主幹教諭含む） 40名
日程	実施形態	概要		
①8月29日(金) ～9月4日(木)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性①		
②9月5日(金)	遠隔	【交流・講義・協議】（3h） ○公立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な接続 ○学力検査問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性② ○協議等を踏まえた授業の構想		
講師	①北海道立教育研究所職員 ②道内の公立高等学校教諭		研修コード	2025教研12-1
			実施要項	

※全2回

講座番号	12-2	講座名	教科指導力向上研修（中学校 社会） ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	
区分	教科指導			
研修のねらい	公立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から本道の子どものための課題を見だし、課題の解決に向け創意工夫した授業を構築できる実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	中学校等社会科担当教諭 （主幹教諭含む） 40名
日程	実施形態	概要		
①8月29日(金) ～9月4日(木)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性①		
②9月9日(火)	遠 隔	【交流・講義・協議】（3h） ○公立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な接続 ○学力検査問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性② ○協議等を踏まえた授業の構想		
講師	①北海道立教育研究所職員 ②道内の公立高等学校教諭		研修コード	2025教研12-2
			実施 要項	

※全2回

講座番号	12-3	講座名	教科指導力向上研修（中学校 数学） ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	
区分	教科指導			
研修のねらい	公立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から本道の子どもたちの課題を見だし、課題の解決に向け創意工夫した授業を構築できる実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	中学校等数学科担当教諭 （主幹教諭含む） 40名
日程	実施形態	概要		
①8月29日(金) ～9月4日(木)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性①		
②9月5日(金)	遠 隔	【交流・講義・協議】（3h） ○公立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な接続 ○学力検査問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性② ○協議等を踏まえた授業の構想		
講師	①北海道立教育研究所職員 ②道内の公立高等学校教諭		研修コード	2025教研12-3
			実施 要項	

※全2回

講座番号	12-4	講座名	教科指導力向上研修（中学校 理科） ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	
区分	教科指導			
研修のねらい	公立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から本道の子どもたちの課題を見だし、課題の解決に向け創意工夫した授業を構築できる実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	中学校等理科担当教諭 （主幹教諭含む） 40名
日程	実施形態	概要		
①8月29日(金) ～9月4日(木)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性①		
②9月9日(火)	遠 隔	【交流・講義・協議】（3h） ○公立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な接続 ○学力検査問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性② ○協議等を踏まえた授業の構想		
講師	①北海道立教育研究所職員 ②道内の公立高等学校教諭		研修コード	2025教研12-4
			実施 要項	

※全2回

講座番号	12-5	講座名	教科指導力向上研修（中学校 英語） ～高校入試問題等を教材とした授業改善の推進～	
区分	教科指導			
研修のねらい	公立高等学校入学者選抜学力検査の結果や学力に関する各種調査結果から本道の子どもたちの課題を見だし、課題の解決に向け創意工夫した授業を構築できる実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	中学校等外国語科担当教諭（主幹教諭含む）40名
日程	実施形態	概要		
①8月29日(金) ～9月4日(木)	オンデマンド	【講義・演習】（0.5h） ○各種調査の結果報告等 ○育成を目指す資質・能力との関係性①		
②9月12日(金)	遠 隔	【交流・講義・協議】（3h） ○公立高等学校入学者選抜学力検査問題の結果分析を踏まえた中高の円滑な接続 ○学力検査問題の解答プロセスの再現 ○育成を目指す資質・能力との関係性② ○協議等を踏まえた授業の構想		
講師	①北海道立教育研究所職員 ②道内の公立高等学校教諭		研修コード	2025教研12-5
			実施 要項	

※全2回

講座番号	13	講座名	中学校国語レベルアップ研修	
区分	教科指導			
研修のねらい	講義や実践の振り返り等を通して自己の課題を明確にし、課題の解決に向けて作成したロードマップに基づく実践を積み重ねることにより、指導力の向上を図る。		受講対象 定員	初任段階（１年次を除く）及び指導力の向上を図りたい国語科担当教諭 18名
日程	実施形態	概要		
①6月26日(木) ～7月16日(水)	オンデマンド	【説明・講義】（0.3～1 h） ○オリエンテーション（必須） ○学習指導要領に係る動画の視聴（任意）		
②8月5日(火)	遠隔	【講義・演習】（3.5 h） ○講義：今、求められる授業 ○演習：自己の実践の振り返りと、自己課題の明確化、ロードマップの作成		
【職場実践】ロードマップに基づいた課題解決に向けた取組の実践				
③10月14日(火)	遠隔	【協議】（1 h） ○取組の振り返りと実践発表に向けた協議		
④12月9日(火)	遠隔	【実践交流】（2.5 h） ○実践成果の発表及び交流 ○研修のまとめ		
講師	①国立教育政策研究所学力調査官（併）教育課程調査官 加藤 咲子 氏 （山形大学教育学部附属中学校教諭、山形県教育センター指導主事、山形大学准教授を経てR4より現職）		研修コード	2025教研13
			実施要項	

※全4回

講座番号	14	講座名	中学校社会レベルアップ研修	
区分	教科指導			
研修のねらい	講義や実践の振り返り等を通して自己の課題を明確にし、課題の解決に向けて作成したロードマップに基づく実践を積み重ねることにより、指導力の向上を図る。		受講対象 定員	初任段階（１年次を除く）及び指導力の向上を図りたい社会科担当教諭 18名
日程	実施形態	概要		
①6月27日(金) ～7月17日(木)	オンデマンド	【説明・講義】（0.3～1 h） ○オリエンテーション（必須） ○学習指導要領に係る動画の視聴（任意）		
②8月6日(水)	遠隔	【講義・演習】（3.5 h） ○講義：今、求められる授業 ○演習：自己の実践の振り返りと、自己課題の明確化、ロードマップの作成		
【職場実践】ロードマップに基づいた課題解決に向けた取組の実践				
③10月15日(水)	遠隔	【協議】（1 h） ○取組の振り返りと実践発表に向けた協議		
④12月5日(金)	遠隔	【実践交流】（2.5 h） ○実践成果の発表及び交流 ○研修のまとめ		
講師	①文部科学省初等中等教育局視学官 国立教育政策研究所教育課程調査官 藤野 敦 氏 （中学校、高等学校教諭を経て、国立教育政策研究所教育課程調査官(兼) 東京学芸大学教育学部講師、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官を歴任し、R2より現職）		研修コード	2025教研14
			実施要項	

※全4回

講座番号	15	講座名	中学校数学レベルアップ研修	
区分	教科指導			
研修のねらい	講義や実践の振り返り等を通して自己の課題を明確にし、課題の解決に向けて作成したロードマップに基づく実践を積み重ねることにより、指導力の向上を図る。		受講対象 定員	初任段階（1年次を除く）及び指導力の向上を図りたい数学科担当教諭 18名
日程	実施形態	概要		
【オンデマンド（任意）】オリエンテーション及び学習指導要領に係る動画の視聴				
①6月24日(火) ～7月14日(月)	オンデマンド	【説明・講義】（0.3～1h） ○オリエンテーション（必須） ○学習指導要領に係る動画の視聴（任意）		
②7月30日(水)	遠隔	【講義・演習】（3.5h） ○講義：今、求められる授業 ○演習：自己の実践の振り返りと、自己課題の明確化、ロードマップの作成		
【職場実践】ロードマップに基づいた課題解決に向けた取組の実践				
③10月16日(木)	遠隔	【協議】（1h） ○取組の振り返りと実践発表に向けた協議		
④12月11日(木)	遠隔	【実践交流】（2.5h） ○実践成果の発表及び交流 ○研修のまとめ		
講師	①国立教育政策研究所学力調査官（併）教育課程調査官 島尾 裕介 氏 （徳島県公立中学校教諭を経てR6より現職。教育雑誌『数学教育』にて板書からみる授業改善のポイント等を執筆）		研修コード	2025教研15
			実施 要項	

※全4回

講座番号	16	講座名	中学校理科レベルアップ研修	
区分	教科指導			
研修のねらい	「観察、実験を伴う実習による実体験」や講義等を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について理解を深め、実践的指導力を高めることで、「探究の過程」を踏まえた授業改善を推進する。		受講対象 定員	理科担当教諭（初任から5年以内） 24名
日程	実施形態	概要		
①11月12日(水) ～11月13日(木)	集 合	【観察、実験等を行う実習】（6.5h×1日、6h×1日） ○「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」領域の観察、実験 ○実社会での問題発見・解決		
【職場実践】研修の成果を基に自校で行う授業実践				
②2月13日(金)	遠 隔	【実践交流】（2.5h） ○実践成果発表及び交流		
講師	①②北海道立教育研究所職員 ①北海道教育大学旭川校准教授 山中 謙司 氏 （元文部科学省国立教育政策研究所学力調査官・教育課程調査官）		研修コード	2025教研16
			実施 要項	

※全2回

※①の集合型研修は北海道札幌啓成高等学校（札幌市厚別区厚別東4条8丁目6番1号）が会場となります。

講座番号	17	講座名	中学校英語レベルアップ研修	
区分	教科指導			
研修のねらい	講義や実践の振り返り等を通して自己の課題を明確にし、課題の解決に向けて作成したロードマップに基づく実践を積み重ねることにより、指導力の向上を図る。		受講対象 定員	初任段階（１年次を除く）及び指導力の向上を図りたい外国語科担当教諭 18名
日程	実施形態	概要		
①6月23日(月) ～7月11日(金)	オンデマンド	【説明・講義】（0.3～1 h） ○オリエンテーション（必須） ○学習指導要領に係る動画の視聴（任意）		
②7月28日(月)	遠隔	【講義・演習】（3.5 h） ○講義：今、求められる授業 ○演習：自己の実践の振り返りと、自己課題の明確化、ロードマップの作成		
【職場実践】ロードマップに基づいた課題解決に向けた取組の実践				
③10月17日(金)	遠隔	【協議】（1 h） ○取組の振り返りと実践発表に向けた協議		
④12月2日(火)	遠隔	【実践交流】（2.5 h） ○実践成果の発表及び交流 ○研修のまとめ		
講師	①至学館大学教授 山田 誠志 氏 （元文部科学省初等中等教育局教科調査官。現行学習指導要領の作成に携わる。岐阜県公立中学校長を経てR6より現職）		研修コード	2025教研17
			実施要項	

※全4回

講座番号	18	講座名	授業力ブラッシュアップ研修（小学校国語）			
区分	教科指導					
研修のねらい	言葉による見方・考え方を働かせ、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成するための授業づくりに向けて、伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う言語活動を学習過程に適切に位置付け、実践する力を身に付ける。				受講対象 定員	小学校等教諭（主幹教諭を含む） 100名
日程	実施形態	概要				
①8月22日(金)	遠隔	【講義・協議】（2.5h） 〇これからの小学校国語教育				
講師	①国立教育政策研究所教育課程調査官・学力調査官 大塚 健太郎 氏 （神奈川県公立小学校教諭、東京学芸大学附属小金井小学校教諭などを経て、R2より現職）				研修コード	2025教研18
					実施要項	

※全1回

講座番号	19	講座名	授業力ブラッシュアップ研修（小学校算数）		
区分	教科指導				
研修のねらい	数学的に考える資質・能力を育成する算数科の授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、授業の改善・充実に向けて実践的な指導力を高める。			受講対象 定員	小学校等教諭（主幹教諭を含む） 100名
日程	実施形態	概要			
①8月18日(月)	遠隔	【講義・協議】（2.5h） ○これからの小学校算数教育			
講師	①岩手大学准教授 佐藤 寿仁 氏 （元国立教育政策研究所教育課程研究センター学力調査官。R3より現職。全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書執筆者）			研修コード	2025教研19
				実施要項	

※全1回

講座番号	20	講座名	授業力ブラッシュアップ研修（小学校理科）	
区分	教科指導			
研修のねらい	「観察、実験を伴う実習による実体験」や講義等を通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について実感を伴った理解を深め、実践的指導力を高めることで、「問題解決の過程」を踏まえた授業改善を推進する。		受講対象 定員	小学校等教諭（理科専科） 24名
日程	実施形態	概要		
①10月23日(木) ～10月24日(金)	集 合	【観察、実験等を行う実習】（6.5h×1日、6h×1日） ○「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」領域の観察、実験 ○実社会での問題発見・解決		
【職場実践】研修の成果を基に自校で行う授業実践				
②2月6日(金)	遠 隔	【実践交流】（2.5h） ○実践成果発表及び交流		
講師	①②北海道立教育研究所職員 ①酪農学園大学教授 金本 吉泰 氏 （元理科教育センター職員。理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究）		研修コード	2025教研20
			実施 要項	

※全2回 ※①の集合型研修は酪農学園大学（江別市文京台緑町582番地）が会場となります。

講座番号	21	講座名	授業力ブラッシュアップ研修（小学校英語）	
区分	教科指導			
研修のねらい	言語活動を通して、外国語でコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する外国語教育の授業づくりのねらいや進め方について理解を深め、授業の改善・充実に向けて実践的な指導力を高める。		受講対象 定員	小学校等教諭、中学校等教諭（主幹教諭を含む） 100名
日程	実施形態	概要		
①8月19日(火)	遠隔	【講義・協議】（2.5h） ○これからの小学校外国語教育		
講師	①国立教育政策研究所教育課程調査官 早川 優子 氏 （山梨県公立小学校教諭、山梨県教育庁指導主事などを経て、R6より現職）		研修コード	2025教研21
			実施要項	

※全1回

講座番号	22-1	講座名	中学校技術分野 基礎研修講座 ～ここから始める「技術分野の授業づくり」～	
区分	教科指導			
研修のねらい	技術科担当教員が、講義や交流等を通して、技術分野の指導の在り方や学習課程について、理解を深める。		受講対象 定員	免許外で技術分野を担当している教諭 技術分野の指導の基本について学びたい教諭等 250名
日程	実施形態	概要		
①6月4日(水)	遠隔	【講義・交流・協議】（3h） ○技術分野の学習過程について ○交流「今後の授業改善に向けて」 ○『D 情報の技術』の指導に係る動画コンテンツの活用について		
講師	①文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 渡邊 茂一 氏 （元相模原市教育センター指導主事。 「名探偵アルゴのプログラミング入門 授業で役立つ自習して楽しい1」（共著 角川アスキー総合研究所））		研修コード	2025教研22-1
			実施要項	

※全1回

講座番号	22-2	講座名	中学校技術分野 充実研修講座 ～実践発表から学ぶ「技術分野の授業づくり」～	
区分	教科指導			
研修のねらい	技術科担当教員が、実践交流や事例発表等を通して、技術分野の指導の在り方について、理解を深める。		受講対象 定員	技術分野を担当する全ての教諭 250名
日程	実施形態	概要		
① 1月23日(金)	遠隔	【実践発表・交流・協議】（3h） ○講義「ねらいの実現を目指す技術分野の授業づくり」 ○「統合的な問題の解決」に係る実践発表 ○専門教員「今後の授業改善に向けた協議」 免外教員「日常実践の交流及び指導計画の作成に向けて」		
講師	①文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 渡邊 茂一 氏 （元相模原市教育センター指導主事。 「名探偵アルゴのプログラミング入門 授業で役立つ自習して楽しい1」（共著 角川アスキー総合研究所））		研修コード	2025教研22-2
			実施要項	

※全1回

講座番号	22-3	講座名	中学校技術分野 応用研修講座 ～チームで作る「統合的な問題の解決」の授業づくり～	
区分	教科指導			
研修のねらい	技術科担当教員が、講義及び「D 情報の技術」に係る実習等を通して、3学年間を見通した指導計画の作成について理解を深める。		受講対象 定員	技術分野の免許をもち、 技術分野を担当する教諭 20名
日程	実施形態	概要		
①6月16日(月) ～7月11日(金)	オンデマンド	【講義】（1h） ○技術分野の学習過程について ○本道の現状と課題等		
【事前課題】 3学年間を見通した指導計画の作成に向けた自校の指導計画の整理				
②7月28日(月) ～7月29日(火)	集 合	【講義・実習・協議】（6.5h×1日、6h×1日） ○講義「3学年間を見通した技術分野の授業づくり」 ○実習「計測・制御のプログラミングによる問題の解決」 ○協議「『統合的な問題の解決』につながる指導計画の作成」		
講師	②北海道教育大学札幌校准教授 石川 智浩 氏 （「ICTを活用したこれからの学び ～次世代を担う教師のためのICT入門～」（一荳書房）。「超小型衛星ミッションサクセスのためのLessons & Learned事例分析」（JAXA）） ② 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 渡邊 茂一 氏 （元相模原市教育センター指導主事。 「名探偵アルゴのプログラミング入門 授業で役立つ自習して楽しい1」（共著 角川アスキー総合研究所））		研修コード	2025教研22-3
			実施 要項	

※全2回

※②の集合型研修の2日目は、北海道教育大学札幌校（札幌市北区あいの里5条3丁目）が会場となります。

講座番号	23	講座名	STEAM探究研修（高等学校）	
区分	教科指導（専門）			
研修のねらい	探究に関して一定程度の経験を有する教員を対象として、STEM領域における課題研究、指導方法の理解を深め、実践的指導力の向上を図るとともに、Artに関する理解を深め、理科を主とする探究に関わる学校設定科目並びに総合的な探究の時間において、STEAMの視点での探究の改善・充実に向けた方策を考える。		受講対象 定員	高等学校等理科担当教諭 24名
日程	実施形態	概要		
①10月2日(木)	遠隔	【講義・協議】（3.75h） ○探究する心に火をともしSTEAM教育		
②12月4日(木)	集合	【協議】（6.5h×1日） ○探究的な学習を深めるための学習指導の在り方		
【職場実践】探究に関する指導の工夫				
③1月26日(月)	遠隔	【実践交流】（3.75h） ○実践成果発表及び交流		
講師	①株式会社steAm代表取締役 中島 さち子 氏 （経済産業省委員、数学者、ジャズピアニスト。株式会社steAmにおいて、STEAM教育の普及に努める） ②道内外のSSH校で探究的な活動を担当する教諭など ①②③北海道立教育研究所職員		研修コード	2025教研23
			実施要項	

※全3回 ※②の集合型研修は北海道滝川高等学校（滝川市緑町4丁目5番77号）が会場となります。

講座番号	24	講座名	起業家教育の推進に向けた実践的指導力向上研修 ～「ビジネスゲーム実習（戦略マネジメントゲーム）」の活用～	
区分	教科指導 （専門）			
研修のねらい	講義及び演習等を通して、「起業家教育」の視点からのキャリア教育の推進について理解を深めるとともに、起業家教育の方法の一つである、生徒実習システムの「ビジネスゲーム実習（戦略マネジメントゲーム）」を活用した体験的な学習を取り入れた、起業家教育における実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	生徒実習システム「ビジネスゲーム実習（戦略マネジメントゲーム）」を活用し、起業家教育の視点からキャリア教育を推進したいと考えている道立高等学校の教諭 12名
日程	実施形態	概要		
①7月24日(木) ～7月25日(金)	遠 隔	【講義・演習】（1.5日） ○起業家教育とは ○起業家教育プログラム ○戦略マネジメントゲームの体験 ○ビジネスゲーム実習を活用した授業づくり		
講師	①株式会社 ZERO EDUCATION&ARTS COO 中野 達哉 氏 （ゼロ高等学院 専任講師） 北海道立教育研究所職員		研修コード	2025教研24
			実施 要項	

※全1回

講座番号	25	講座名	工業科教員の実践的指導力向上研修 ～工業科目の授業づくりの進め方～	
区分	教科指導 (専門)			
研修のねらい	工業科の目標を踏まえた情報活用能力育成の観点から、実際のプログラミングを通した、プログラミング的思考の育成や生徒実習システムを活用した実践的・体験的な学習活動を推進する実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	高等学校工業科担当の初任段階教諭 10名
日程	実施形態	概要		
①9月11日(木) ～9月12日(金)	集 合	【講義・演習・講話】（2日） ○ブレッドボードによる回路製作と制御プログラム ○生徒実習システムを活用した授業づくり ○学習指導案作成の実際 ○工業高等学校長によるトークセッション		
講師	①工業高等学校長、北海道立教育研究所職員		研修コード	2025教研25
			実施 要項	

※全1回

講座番号	26	講座名	商業科教員の実践的指導力向上研修 ～「体験的な学習活動」及び「指導と評価の一体化」の充実に向けて～	
区分	教科指導 (専門)			
研修のねらい	講義、演習及び授業参観等を通して、教科商業科における体験的な学習活動を取り入れた授業づくりについて理解を深めるとともに、「指導と評価の一体化」の充実に向けた授業改善のための実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	高等学校商業科担当の初任段階（採用1年～5年以内）教諭及び実習助手10名
日程	実施形態	概要		
①9月10日(水) ～9月11日(木)	集 合	【講義・演習・授業見学】（2日） ○授業見学、中堅教員との懇談 ○商業高等学校長による講話 ○学習指導計画の作成 ○講話（高校教育課指導主事）		
講師	①商業高等学校長、高校教育課指導主事、 北海道立教育研究所職員		研修コード	2025教研26
			実施 要項	

※全1回 ※集合研修は北海道札幌東商業高等学校(札幌市厚別区厚別中央3条5丁目6番10号)が会場となります。

講座番号	27	講座名	生徒指導研修1 ～「いじめ見逃しゼロ」を目指した取組の推進～	
区分	生徒指導			
研修のねらい	いじめ問題の積極的な認知と早期対応の重要性について理解を深め、いじめの重大事態発生を防ぐための方策を得る。		受講対象 定員	教頭・主幹教諭、生徒指導担当教諭等 84名
日程	実施形態	概要		
①7月1日(火) ～8月18日(月)	オンデマンド	【講義】（1h） ○北海道におけるいじめ問題の現状と課題 ○学校におけるいじめ問題への対応のポイント		
【事前課題】いじめの防止・いじめ問題への早期対応に係る自校の現状や課題を把握				
②9月3日(水)	遠隔	【講義・演習・協議】（4h） ○管理職としての資質能力（新任管理職研修対象者及び管理職が受講） ○自校の現状や課題について ○いじめ問題の積極的な認知と早期対応 ○自校のいじめ問題における改善の方策		
【職場実践・振り返り】 ○遠隔型研修を踏まえた職場実践の取組 ○振り返り				
講師	①北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課 ②北海道教育大学札幌校教授 平野 直己 氏 （R6道研研修講座講師。北海道いじめ問題審議会委員）	研修コード	2025教研27	
		実施要項		

※全2回

講座番号	28	講座名	生徒指導研修2 ～不登校児童生徒の理解と不登校対応の在り方～	
区分	生徒指導			
研修のねらい	不登校児童生徒を取り巻く環境や支援の在り方等について理解を深め、自校の不登校対応の充実に向けた方策を得る。		受講対象 定員	教頭・主幹教諭、生徒指導担当教諭等 84名
日程	実施形態	概要		
①6月2日(月) ～7月1日(火)	オンデマンド	【講義】（2.5h） ○北海道における不登校の現状と課題 ○不登校対応の課題予防的生徒指導について ○関係機関と連携した不登校支援について ○不登校のアセスメントについて		
【事前課題】不登校対応に係る自校の現状や課題を把握				
②7月17日(木)	遠隔	【説明・実践発表・演習・協議】（4h） ○管理職としての資質能力（新任管理職研修対象者及び管理職が受講） ○インシデント・プロセス法を用いたアセスメント ○GIGAスクール環境下における支援の在り方（実践発表） ○関係機関等との連携		
【職場実践・振り返り】 ○遠隔型研修を踏まえた職場実践の取組 ○振り返り				
講師	①北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課 ②北海道教育委員会兼江別市教育委員会SSW 田村 千波 氏 ②社会福祉法人榆の会臨床心理士 岡部 善也 氏		研修コード	2025教研28
			実施要項	

※全2回

講座番号	29	講座名	生徒指導研修3 ～児童生徒の心の危機を救う組織的かつ計画的な自殺予防～	
区分	生徒指導			
研修のねらい	カリキュラム・マネジメントの視点を踏まえた、組織的な自殺予防教育や教育相談の在り方について理解を深め、自校の組織的かつ計画的な自殺予防の充実に向けた方策を得る。		受講対象 定員	教頭・主幹教諭、生徒指導担当教諭等 84名
日程	実施形態	概要		
①7月14日(月) ～8月22日(金)	オンデマンド	【講義】（1h） ○今求められる自殺予防教育		
【事前課題】自校の教育課程における自殺予防教育の整理・分析				
②9月29日(月)	遠隔	【説明・協議・演習】（4h） ○管理職としての資質能力（新任管理職研修対象者及び管理職が受講） ○北海道における児童生徒の自殺の現状と課題 ○早期発見・早期対応に係る教育相談の充実 ○今後の取組に向けて		
【職場実践・振り返り】 ○遠隔型研修を踏まえた職場実践の取組 ○振り返り				
講師	①②北海道教育大学函館校准教授 本田 真大 氏 （R6道研研修講座講師。H30～R4 北海道教育委員会 自殺予防教育検討会 委員） ①北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課		研修コード	2025教研29
			実施要項	

※全2回

講座番号	30	講座名	ミドルリーダー研修講座 ～これからの学校におけるミドルリーダーの役割～	
区分	課題対応			
研修のねらい	オンデマンド型研修及び遠隔型研修を通して、学校のミドルリーダーとしての在り方、考え方及びその役割について自覚するとともに、学校課題の解決に向けた方策について理解を深める。		受講対象 定員	全ての校種のミドルリーダー 45名
日程	実施形態	概要		
①7月17日(木) ～8月21日(木)	オンデマンド	【講義】（1h） ○これからの学校におけるミドルリーダーシップ （NITS校内研修シリーズ No.165） ○事前課題に向けて		
【事前課題】自校の諸課題の整理、及びその対応策についての考察				
②9月2日(火)	遠 隔	【協議・演習】（3h） ○実践発表 ○自校の諸課題や対応策についての省察 ○協議等で得た気づきを基に課題解決に向けた取組の構想		
【職場実践・振り返り】 ○遠隔型研修を踏まえた職場実践の取組 ○振り返り				
講師	①②道立教育研究所職員	研修コード	2025教研30	
		実施 要項		

※全2回

講座番号	31	講座名	へき地・小規模校教育充実研修 ～複式学級における学習指導の在り方～	
区分	課題対応			
研修のねらい	複式学級における基本的な学習指導の在り方や個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた授業改善の在り方について理解を深め、実践的指導力の向上を図る。		受講対象 定員	へき地・小規模校での勤務年数が5年以内の小・中学校等教諭 20名
日程	実施形態	概要		
①6月18日(水) ～7月3日(木)	オンデマンド	【講義】（1h） ○複式学級における学習指導 ○へき地・小規模校で自立型学習活動を伸ばす指導		
②7月10日(木)	遠隔	【実践発表・協議】（3h） ○北海道へき地・複式教育連盟からの推薦教員による実践発表 ○学習指導の課題解決に向けた協議		
③12月10日(水)	遠隔	【交流会】（1.5h） ○学習指導に係る実践交流		
【自己研修・実践交流】 Google Classroom上での実践交流				
講師	①北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター センター長 玉井 康之 氏 （北海道教育大学副学長。NITS校内研修シリーズNo.111、112「これからのへき地・複式・小規模校教育（上）（下）」講師） ①北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター 副センター長 川前 あゆみ 氏 （2024.3「未来の教育を創造するへき地・小規模校の教育力」（共著）） ②③北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター員 ・北海道へき地・複式教育研究連盟役員		研修コード	2025教研31
			実施 要項	

※全3回

講座番号	32	講座名	薬品取扱い研修【小・中・高等学校】	
区分	課題対応			
研修のねらい	「薬品を用いた観察、実験を行う実習」や、「薬品管理に係る法令」等の講義を通して、学校で取り扱う薬品の安全で適切な管理について実感を伴った理解を深め、観察・実験などで適切に取り扱うための知識・技能を身に付ける。		受講対象 定員	小学校等教諭（理科専科）、中学校等理科担当教諭（薬品管理担当）、高等学校等理科担当教諭（薬品管理担当） 小、中、高 各8名
日程	実施形態	概要		
①7月29日(火)	集 合	【講義・協議・実習・振り返り】（6.5h×1日） ○薬品管理、薬品の調製、廃棄方法 ○校種別の薬品の取扱い、器具の取扱い、実験の留意事項 等		
講師	①北海道立教育研究所職員		研修コード	2025教研32
			実施 要項	

※全1回 ※酪農学園大学（江別市文京台緑町582番地）が会場となります。

講座番号	33	講座名	薬品取扱い基礎研修【小・中学校】	
区分	課題対応			
研修のねらい	「薬品を用いた観察、実験を行う実習」や、「薬品管理に係る法令」等の講義を通して、小・中学校で取り扱う薬品の安全で適切な管理について実感を伴った理解を深め、観察・実験などで適切に取り扱うための基本的な知識・技能を身に付ける。		受講対象 定員	小学校等教諭（理科専科）、中学校等理科担当教諭（薬品管理担当） 小、中 各12名
日程	実施形態	概要		
①6月20日(金)	集 合	【講義・協議・実習・振り返り】（3h×1日） ○薬品管理、薬品の調製、廃棄方法 ○校種別の薬品の取扱い、器具の取扱い、実験の留意事項 等		
講師	①北海道立教育研究所職員		研修コード	2025教研33
			実施 要項	

※全1回 ※北海道帯広工業高等学校（帯広市清流西2丁目8番地1）が会場となります。

講座番号	34-1	講座名	日本語指導が必要な子どもへの支援の在り方①	
区分	課題対応			
研修のねらい	講義・協議・演習を通して、日本語指導が必要な子どもが生き生きとした学校生活を送ることができるよう、受入れ体制の整備や特別の教育課程、日本語指導の在り方について理解を深め、指導力の向上を図る。		受講対象 定員	日本語指導を担当する教諭・養護教諭（加配教員を含む） 32名程度
日程	実施形態	概要		
①6月11日(水)	遠隔	【講義・協議・演習】（5h） ○日本語指導が必要な外国人児童生徒等教育の現状と課題 ○改訂された日本語能力測定方法「DLA」について ○実践交流		
講師	①大阪大学大学院人文学研究科日本学専攻准教授 （文部科学省外国人児童生徒教育アドバイザー） 櫻井 千穂 氏 （「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA」の開発に携わる。令和6年度帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業推進協議会 講師）		研修コード	2025教研34-1
			実施要項	

※全1回

講座番号	34-2	講座名	日本語指導が必要な子どもへの支援の在り方②	
区分	課題対応			
研修のねらい	講義・協議・演習を通して、日本語指導が必要な子どもが生き生きとした学校生活を送ることができるよう、受入れ体制の整備や特別の教育課程、日本語指導の在り方について理解を深め、指導力の向上を図る。		受講対象 定員	日本語指導を担当する教諭・養護教諭（加配教員を含む） 32名程度 ※「日本語指導が必要な子どもへの支援の在り方①」を受講していなくても受講可能です。
日程	実施形態	概要		
②12月8日(月)	遠隔	【講義・協議・演習】（4h） ○「DLA」に基づいた児童生徒の実態把握についての実践交流 ○指導計画と指導方法 ○関係機関との連携について ○外国人児童生徒等の教育・支援のためのネットワーク		
講師	①大阪大学大学院人文学研究科日本学専攻准教授 （文部科学省外国人児童生徒教育アドバイザー） 櫻井 千穂 氏 （「外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA」の開発に携わる。令和6年度帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業推進協議会 講師）		研修コード	2025教研34-2
			実施要項	

※全1回

講座番号	35	講座名	学級経営研修 ～全ての児童生徒が安心して学ぶことができる学級経営～	
区分	課題対応			
研修のねらい	講義や受講者同士の協議・演習を通して、児童生徒との信頼関係を構築し、それぞれの可能性を引き出し、活躍の場をつくる学級経営を計画的に行うための方策を得る。		受講対象 定員	小学校等・中学校等の若手教諭 各24名程度（宗谷管内・根室管内）
日程	実施形態	概要		
① 宗谷：7月29日(火) 根室：7月31日(木)	集 合	【説明・協議】（4.5h×各1日） ○自身の学級経営を振り返って ○実践交流（効果的だった取組について） ○今後の実践に向けて		
② 宗谷：1月13日(火) 根室：1月14日(水)	遠 隔	【交流会】（1.5h） ○学級経営に係る実践交流		
講師	①北海道立教育研究所職員	研修コード	2025教研35	
		実施要項		

※全2回

※①の集合型研修は、宗谷会場が宗谷総合振興局（稚内市末広4丁目2-27）、根室会場が中標津経済センター なかまっぴ（標津郡中標津町東2条南2丁目1）となります。